

松が丘小学校コミュニティ・スクール

～平成 30 年度の取り組みに向けて～（案）

◎松が丘小CSの基本理念

いい学校はいい街にある いい街にはいい学校がある
「いい学校づくり=いい街づくり」

○いい学校づくり=いい街づくり関係図

いい学校とは
「やりやすい学校」ではない

◎レベルアップできる学校

学んだことを使い、人と議論し、修正しながら、答えがないものに解決の道をつけていく力を培っていく（たしかに ゆたかに たくましく）

→学校生活の中で教科学習やいろいろな活動の中で個々がレベルアップ

→保護者・地域の人とつながり、幅広い年齢層の方から生き方・考え方を学び、知恵に触れていくことで、学校での学びを社会で通用する、自分の生き方につなげていく学びにレベルアップ（豊かに生きるために生涯学びつづける基礎づくり）

→子どもの学びの成長を通して大人もレベルアップ

いい学校づくり=いい街づくり
人がつどう学校をとおして

コミュニティ・スクールづくりをとおして生涯をとおして学ぶ基礎づくり
「生きることの喜び、人生を楽しむ、楽しめる力」

学校にとって

- 学びの深まり
- 社会とのつながる学び
- 教師の指導力の向上
（創造性とコーディネート力）
- 子どもたちへの刺激
（学びの意欲の向上）
- 学校教育への理解
- 学校支援
- 教職員の負担軽減

知も
心も
共に育つ
体も
学校

地域・保護者のみなさんにとって

- 人の交流の活性化
- 世代間交流（保護者・地域住民）
- 学校の様子の把握・理解
- 子育て情報の共有
- 子育てにやさしい街づくり
- 地域リーダーの育成
- リーダー育成への基礎づくり
（未来のリーダー・ふるさと意識）
- 魅力あるまちづくり
- 生涯学習の場

いい地域とは

立地・生活環境に恵まれた街ではない

◎人が無関心ではなく、声を掛け合い、助け合いが自然にできる地域

→声を掛け合い、助け合うから安全なまち、きれいなまち、すみやすいまちに

→そうした中で育つ子どもたちは地域の人に見守られ、気持ちのよいあいさつができる

→家族以外の大人と自然に言葉をかわす →地域にほこり（ふるさと意識）

→世代を超えたつながりがある街

→人が集まり 住みたい街に

◎松が丘コミュニティ・スクールを推進するために

取り組み1 教育環境充実のために地域・保護者の皆様からの支援

○子どもへの支援

- ・1年生入学時支援（民生委員さんを中心に） ・ぶっくママ（保護者・地域住民等有志）
- ・地域での登下校の見守り活動（スクールガードさん） ・松っ子教室（まち協）
- ・さつまいも（ふれあいガーデン） ・夏のプール開放（プール開放委員会 保護者有志）
- ・松っ子子ども将棋教室（将棋愛好家有志）
- ・3年・6年放課後教室（計画中 高学年に向けて 中学校に向けて）

○教育環境への支援

- ・いきものみまもり隊（あかねがおか学園有志）
- ・草刈ボランティア（まち協中心）
- ・花壇ボランティア（計画中 南門付近 通行してる方も楽しめる花壇）

取り組み2 学校に関心を向け、人が集まる仕組みづくり

○大人も楽しむ学習広場 ・大人も楽しむ子育て広場

実施教室

- ・大人も楽しむ折り紙教室
- ・大人も楽しむ外国語教室
- ・大人も楽しむ書道教室

計画教室

- ・大人も楽しむ合唱教室

実施講座

- ・「全国学力調査をとおして本校の子どもたちを考える」
- ・「子育てをとおして共に育つ」
- ・「たまには星空を楽しんでみるのはいかがですか」

計画講座

- ・「松が丘自然をたのしもう」

○ふれあい広場の開設（東校舎1F）

- ・地域の方に立ち寄ってもらえる場へ（保護者世代も高齢者の皆様も）
→ふれあいカフェ（仮称）の開設検討
子どもとの触れあってもらえる場に
子どもがボランティアできる場に

○ふれあいギャラリーの開設（西館1F玄関スペース）

- ・子どもの作品や保護者・地域の皆様の作品を展示し交流するスペース。

◎取り組み1・2をより推進するためには＝平成30年度取り組み課題

取り組みを定着させ、より理解を深め、協力者をふやすために

①学校運営協議会のもち方の検討

報告から方向性等の検討・検証

→コミュニティ・スクール連絡会へ

②学校とまち協とPTAがアイデアを出し合い、情報を交流する場

（いい学校づくり＝いい地域づくりのためにアイデアを出し合う場を！）

- ・コミュニティ・スクール連絡会の設置

- ・松が丘小未来会議の開催

高学年児童&保護者&地域住民&教師による学校づくり＝地域づくりの意見交換

③コミュニティ・スクールのPR

④ふれあい広場の活性化→ふれあいカフェの検討

地域・保護者のみなさんが立ち寄っていただける場

低・中学年にとって 遊びを教えて！

高学年にとって 何かできることは！

＝子どもたちにとって地域貢献の基礎づくり

⑤子どもたちの貢献活動（できる範囲で、できることから）

→敬老会ボランティア ベルマーク収集 etc.